

◆インターネット活用教育実践コンクール実行委員会賞◆

〈社会教育部門〉

「Manabiしちよる？学習意欲ワクワク情報提供の実践」

山口県周南市生涯学習センター

〒745-0071 山口県周南市岐山通1-4

■実践事例報告の概要

周南市生涯学習センターでは、公民館の講座案内、イベント情報や公民館の所在地をホームページで提供している。また、希望者には大人向け、子ども向けのメールマガジンを発行して、市民に新鮮な学習情報を提供することに努めている。

実践のねらい

“紙”という媒体による情報の伝達力と提供できる範囲を超え、「いつでも」「どこでも」「知りたいこと」「知りたい時」「必要な学習情報」を市民に提供できる環境を整備することを目的にしている。

特徴・工夫・努力した点

“情報の提供”だけに凝らず、配色やレイアウトにも気を使い、四季折々に見て楽しめるページづくりをしている。

閲覧する側の立場になり、施設の所在地を図示(全体図、詳細図)したり、文字の配置も高齢者などにわかりやすいように配慮し、リピーターになってもらえるように、画面づくりに工夫をしている。

実践内容

市や公民館から発信される情報は生涯学習センターに提供してもらうとともに、その他メディアから発信されている情報にも気を配り、広範囲な社会教育に対応できる情報を収集し、常に新鮮な情報を掲載している。

市内の公民館を会場としている学級を掲載し、場所や希望する学級内容で検索できるように工夫

し、公共施設に設置してある市民開放パソコンから検索できる環境にしてある。

また、希望者にはメールマガジン（子ども向け、大人向け）も発行し、定期的な情報提供も行っている。

・子ども向けメールマガジン：

登録件数140人、月2回発行

・大人向けメールマガジン：

登録件数323人、月2回発行

(平成15年8月末時点)

実践結果

いままで公民館などには縁がない市民も、気軽に教養学習の内容がわかり、新たな学習活動者をつくることができる。

本市は、平成16年4月21日に2市2町が合併し、周南市として発足したばかりで、紙を媒体とした情報提供はまだ不足気味であり、広域（市面積は全国16位）に学習情報を発信するのに役立っている。

考察（今後の課題）

学習情報の提供先も、県や各市町村、また各施設とさまざまな中、情報の提供先は地元を焦点を合わせ、リピーターが増えるための工夫をしていく。

